

広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 令和6年11月 ～

この「財政状況の公表」は、後期高齢者医療制度の運営にお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を皆さんに知っていただくため、毎年5月に下半期分（前年度10月1日から3月31日まで）の財政状況と当年度の当初予算を、11月に上半期分（4月1日から9月30日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、令和6年度上半期（令和6年4月1日から9月30日まで）の予算執行や財産の状況と令和5年度の決算状況について公表します。

また、主要な予算科目の内容について簡単に説明しています。

令和6年度上半期の財政状況

～予算執行の状況と財産等の概要～

以下で説明する財政状況は、令和6年9月30日現在で記載しています。

1 令和6年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況（令和6年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

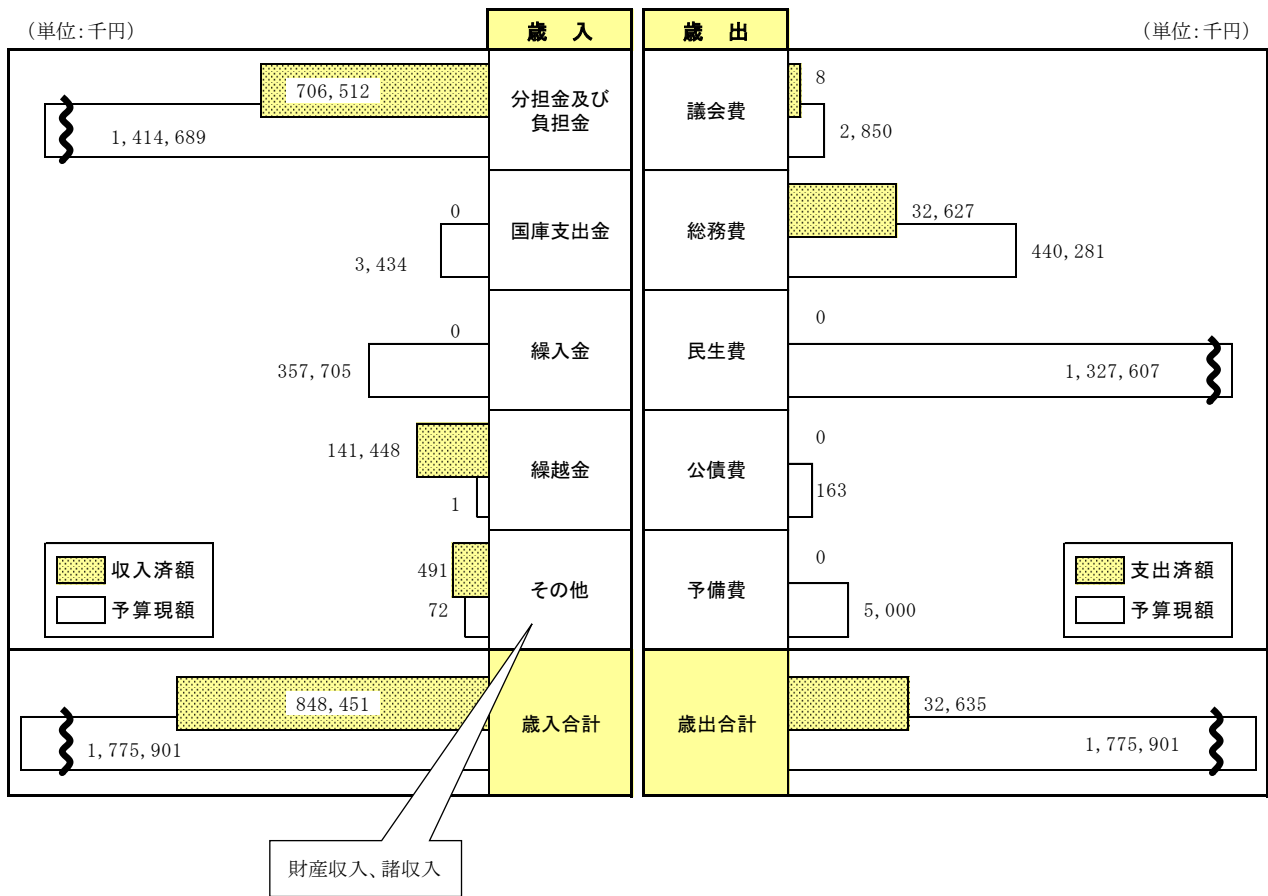
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	1,414,689	706,512	49.9%
国庫支出金	3,434	0	0.0%
財産収入	19	347	1,826.3%
繰入金	357,705	0	0.0%
繰越金	1	141,448	14,144,800.0%
諸収入	53	144	271.7%
合 計	1,775,901	848,451	47.8%

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	2,850	8	0.3%
総務費	440,281	32,627	7.4%
民生費	1,327,607	0	0.0%
公債費	163	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合 計	1,775,901	32,635	1.8%

グラフ「令和6年度一般会計予算の執行状況（令和6年9月30日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況（令和6年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	87,341,471	36,184,946	41.4%
市町保険料等負担金※	50,100,364	17,564,324	35.1%
国庫支出金	155,720,068	92,034,279	59.1%
県支出金	39,912,159	24,827,408	62.2%
支払基金交付金	187,979,604	79,061,932	42.1%
特別高額医療費 共同事業交付金	212,944	0	0.0%
財産収入	162	4,148	2,560.5%
繰入金	4,331,398	0	0.0%
繰越金	1	794,241	79,424,100.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	486,273	244,283	50.2%
合 計	475,984,081	233,151,237	49.0%

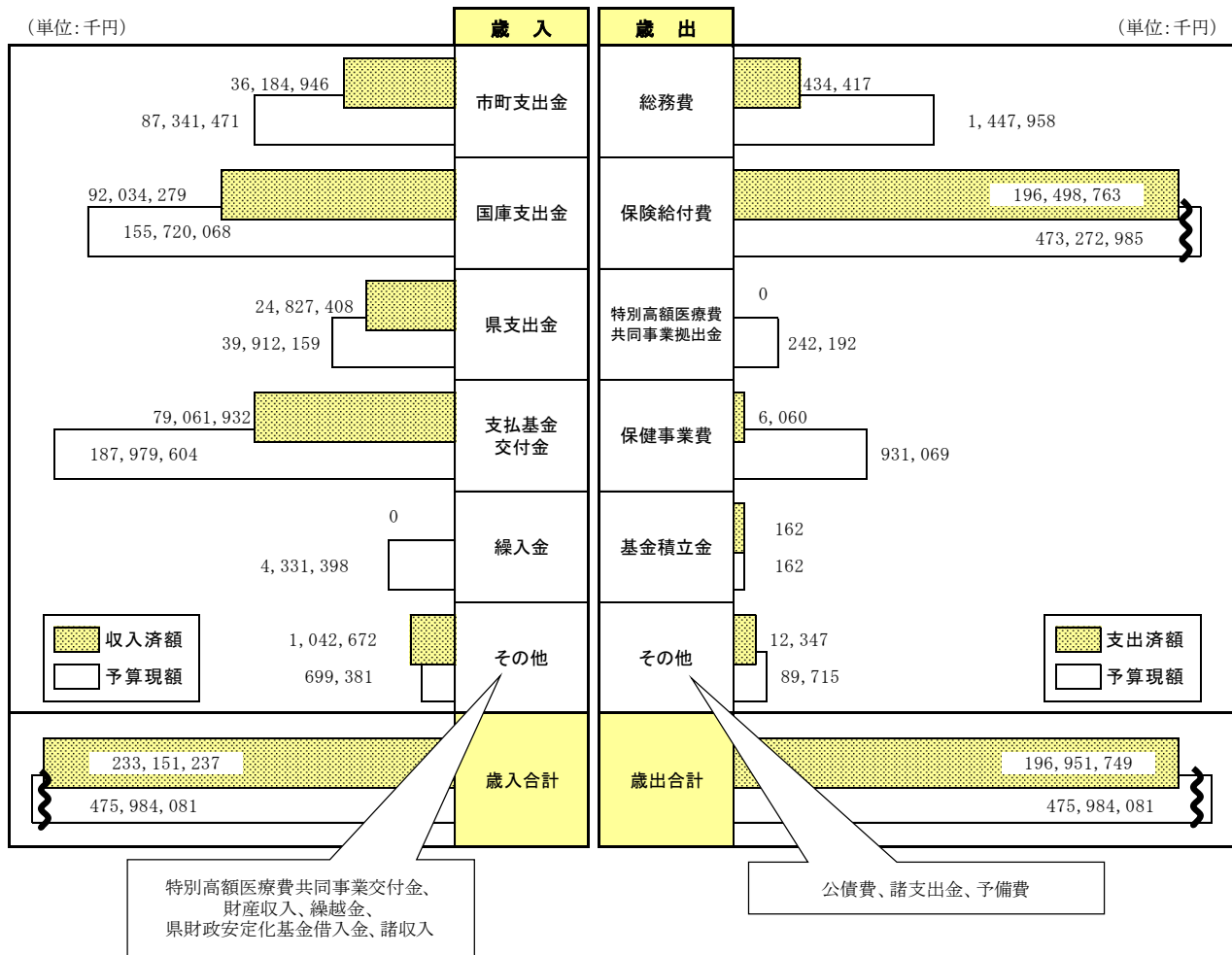
※市町保険料等負担金：市町支出金のうち保険料等についての再掲

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	1,447,958	434,417	30.0%
保険給付費	473,272,985	196,498,763	41.5%
特別高額医療費 共同事業拠出金	242,192	0	0.0%
保健事業費	931,069	6,060	0.7%
基金積立金	162	162	100.0%
公債費	3,247	0	0.0%
諸支出金	61,468	12,347	20.1%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	475,984,081	196,951,749	41.4%

グラフ「令和6年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（令和6年9月30日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

2 広域連合が所有する財産の現在高

令和6年9月30日現在において、広域連合が所有する財産は次のとおりです。

【物 品】

区 分	数 量	摘 要
物 品	1	令和3年度財務会計システム一式

(取得価格1件100万円以上の物品)

【基 金】

名 称	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	948,532,554	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療給付準備基金	11,453,473,232	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

3 一時借入金及び地方債の借入状況

(1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための短期借入金です。

令和6年4月1日から9月30日までの間の借入れはありませんでした。

(2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するためのものです。

令和6年9月30日現在において、借入れはありません。

4 住民負担の状況

被保険者に納めていただいた保険料は、医療給付等に要する費用に充てられる「保険料等負担金」として各市町から広域連合に納付されています。

その他に各市町からは、広域連合の運営に要する費用に充てられる「事務費負担金」及び医療給付に要する費用に一定の割合で充てられる「療養給付費負担金」が広域連合に納付されています。

令和6年4月1日から9月30日における各市町の納付額は、次のとおりです。

(単位：千円)

区 分	保険料等負担金	事務費負担金	療養給付費負担金	合 計
広島市	7,001,833	254,754	6,652,542	13,909,129
呉市	1,836,650	58,915	1,961,964	3,857,529
竹原市	240,751	10,031	258,774	509,556
三原市	762,083	25,890	769,116	1,557,089
尾道市	1,151,815	37,459	1,134,558	2,323,832
福山市	3,024,785	106,985	2,815,110	5,946,880
府中市	341,583	13,020	307,350	661,953
三次市	410,184	16,032	441,726	867,942
庄原市	326,137	13,015	366,918	706,070
大竹市	272,185	9,882	246,684	528,751
東広島市	1,142,589	42,098	1,028,514	2,213,201
廿日市市	905,038	29,863	769,884	1,704,785
安芸高田市	243,798	10,604	236,268	490,670
江田島市	241,146	9,614	287,658	538,418
府中町	365,344	13,998	315,864	695,206
海田町	186,644	9,282	161,772	357,698
熊野町	230,628	9,336	204,162	444,126
坂町	93,219	6,064	88,506	187,789
安芸太田町	55,769	5,089	81,102	141,960
北広島町	150,853	7,862	166,314	325,029
大崎上島町	81,234	5,419	92,658	179,311
世羅町	140,499	7,406	141,582	289,487
神石高原町	88,095	5,726	91,596	185,417
合 計	19,292,862	708,344	18,620,622	38,621,828

※令和5年度分の納付額(1,730,370千円)を含んでいます。

主要な予算科目の内容

1 一般会計

(歳 入)

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町からの事務費分担金
国庫支出金	広域連合ごとの事情に応じて交付される補助金等
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

2 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の1/12相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の3/12相当の公費負担や、広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の1/12相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	一般会計、給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費、高額療養費、葬祭費等の保険給付のための経費
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し、特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金等
基金積立金	給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫負担金、県負担金、市町負担金の返還等に要する経費
予備費	不測の支出に備えるための経費

令和5年度広域連合の決算の状況

1 令和5年度の事業

広域連合では、被保険者に安定した医療給付を実施していくための各種事業を行い、制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

●令和5年度一般会計の主な事業

主な経費は、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための事務費繰出金（892,382千円）、派遣職員の給料等負担金（280,943千円）となっています。

●令和5年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費は、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費（453,755,461千円）、電算処理システムの安定稼働と適正運用のための電算処理システム運用管理事業（297,356千円）、市町が行う健康診査事業、歯科健康診査事業、長寿・健康増進事業や低栄養防止・重症化予防等推進事業に対する補助（283,841千円）、広域連合が行う保健事業・介護予防一体的実施業務委託料（271,874千円）となっています。

2 令和5年度一般会計の決算状況

歳入決算額	16億872万7,509円
歳出決算額	14億6,727万9,070円
歳入歳出差引額	1億4,144万8,439円

(1) 歳入の状況

令和5年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の大部分を占めています。

前年度と比較すると、合計で839千円(0.1%)の増となっていますが、これは主に、繰越金が83,526千円(54.3%)増額となったことによるものです。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
分担金及び負担金	1,367,617	1,367,617	100.0%	85.0%	1,449,832	△82,215	△5.7%
国庫支出金	3,262	3,625	111.1%	0.2%	4,101	△476	△11.6%
財産収入	17	16	94.1%	0.0%	12	4	33.3%
繰入金	17,488	0	0.0%	0.0%	0	0	-
繰越金	237,416	237,415	100.0%	14.8%	153,889	83,526	54.3%
諸収入	48	54	112.5%	0.0%	54	0	0.0%
合計	1,625,848	1,608,727	98.9%	100.0%	1,607,888	839	0.1%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

令和5年度の歳出の状況を目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が60.8%を占め、次いで広域連合事務局の運営経費である総務費が全体の39.1%となっています。

前年度と比較すると、総務費106,891千円(22.9%)の増額を中心に、合計で96,806千円(7.1%)の増額となりました。

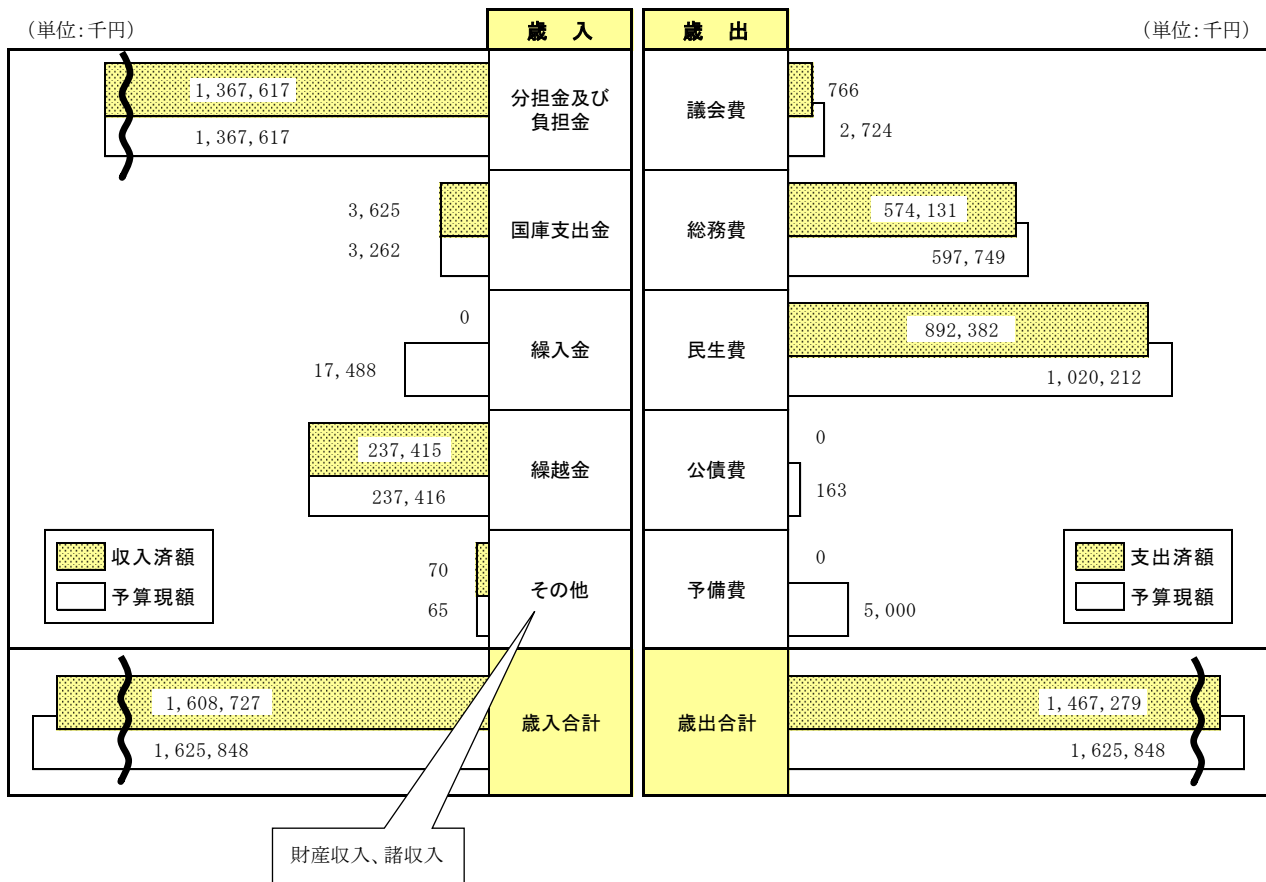
(歳 出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
議会費	2,724	766	28.1%	0.1%	757	9	1.2%
総務費	597,749	574,131	96.0%	39.1%	467,240	106,891	22.9%
民生費	1,020,212	892,382	87.5%	60.8%	902,476	△10,094	△1.1%
公債費	163	0	0.0%	0.0%	0	0	-
予備費	5,000	0	0.0%	0.0%	0	0	-
合 計	1,625,848	1,467,279	90.2%	100.0%	1,370,473	96,806	7.1%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「令和5年度一般会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

3 令和5年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額	4,569億1,744万5,398円
歳出決算額	4,561億1,811万1,354円
歳入歳出差引額	7億9,933万4,044円

↓

歳入歳出差引額のうち翌年度繰越額	509万3,220円
実質収支額（歳入歳出差引額－翌年度繰越額）	7億9,424万824円

※翌年度繰越額とは、年度内にその支出が終わらない予算について、翌年度に繰り越して使用する予算額のこと。

実質収支額は、令和5年度の剰余金として令和6年度に繰り越し、国庫補助金等の返還金の財源に充てます。

(1) 歳入の状況

令和5年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の40.3%を占め、次いで国庫支出金が33.1%、市町支出金が17.3%、県支出金が8.3%となっています。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
市町支出金	80,972,649	79,031,382	97.6%	17.3%	74,392,398	4,638,984	6.2%
市町保険料等負担金	43,933,664	42,432,273	96.6%	9.3%	41,567,314	864,959	2.1%
国庫支出金	148,460,809	151,257,744	101.9%	33.1%	141,846,222	9,411,522	6.6%
県支出金	37,642,849	38,144,002	101.3%	8.3%	36,391,819	1,752,183	4.8%
支払基金交付金	182,508,172	184,323,488	101.0%	40.3%	172,148,382	12,175,106	7.1%
特別高額医療費 共同事業交付金	150,227	207,852	138.4%	0.0%	165,870	41,982	25.3%
財産収入	230	229	99.6%	0.0%	218	11	5.0%
繰入金	4,382,434	892,383	20.4%	0.2%	902,476	△10,093	△1.1%
繰越金	2,487,335	2,487,335	100.0%	0.5%	9,409,009	△6,921,674	△73.6%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	-
諸収入	482,591	573,030	118.7%	0.1%	516,393	56,637	11.0%
合計	457,087,297	456,917,445	100.0%	100.0%	435,772,787	21,144,658	4.9%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

令和5年度の歳出の状況を目的別に見ると、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費が全体の99.5%と歳出総額のほとんどを占め、次いで後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費である総務費が0.2%となっています。

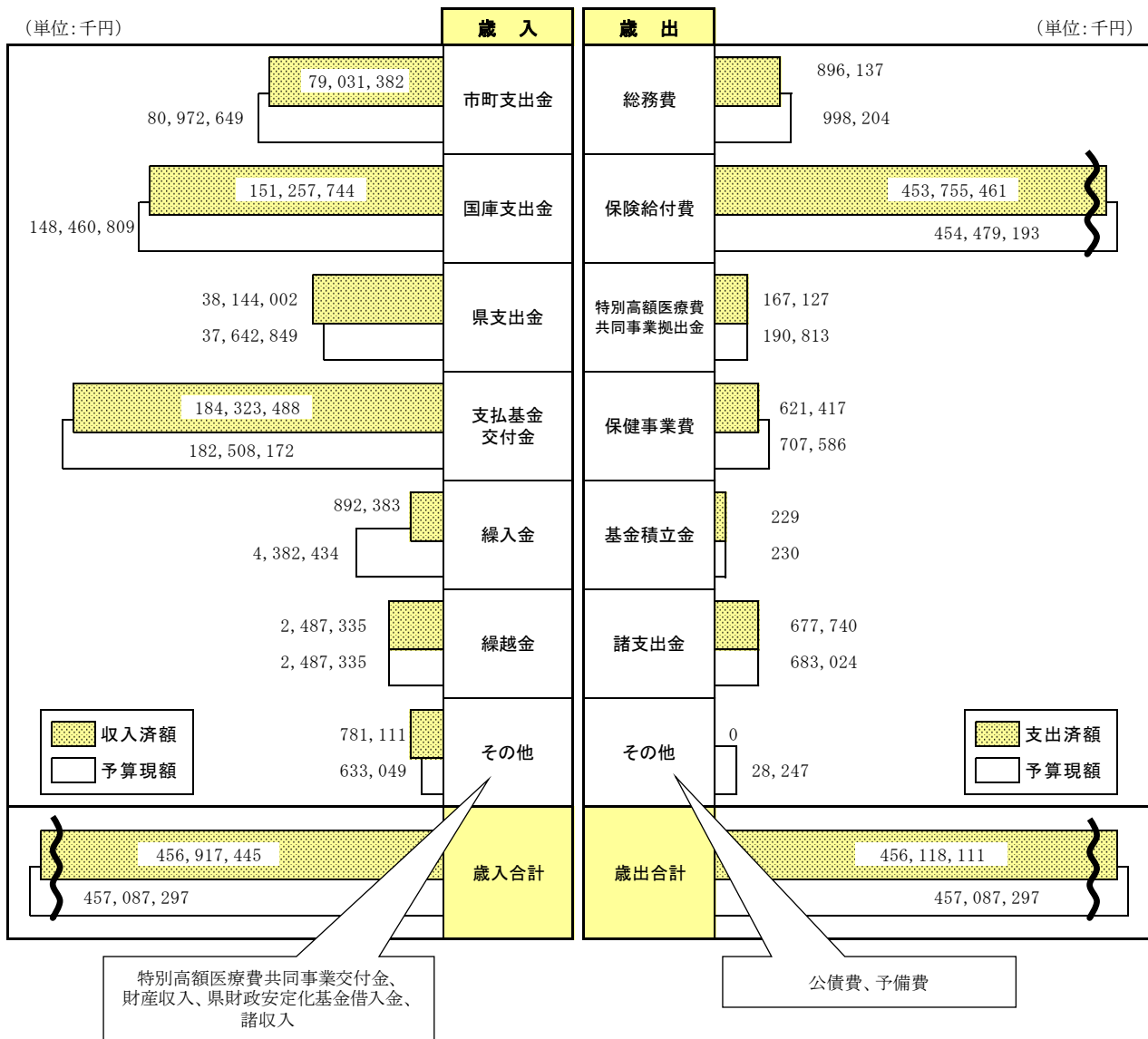
(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
総務費	998,204	896,137	89.8%	0.2%	1,033,883	△137,746	△13.3%
保険給付費	454,479,193	453,755,461	99.8%	99.5%	427,000,416	26,755,045	6.3%
特別高額医療費 共同事業拠出金	190,813	167,127	87.6%	0.0%	148,870	18,257	12.3%
保健事業費	707,586	621,417	87.8%	0.1%	548,019	73,398	13.4%
基金積立金	230	229	99.6%	0.0%	753,293	△753,064	△100.0%
公債費	3,247	0	0.0%	0.0%	0	0	-
諸支出金	683,024	677,740	99.2%	0.1%	3,800,971	△3,123,231	△82.2%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	-
合計	457,087,297	456,118,111	99.8%	100.0%	433,285,452	22,832,659	5.3%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。